

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

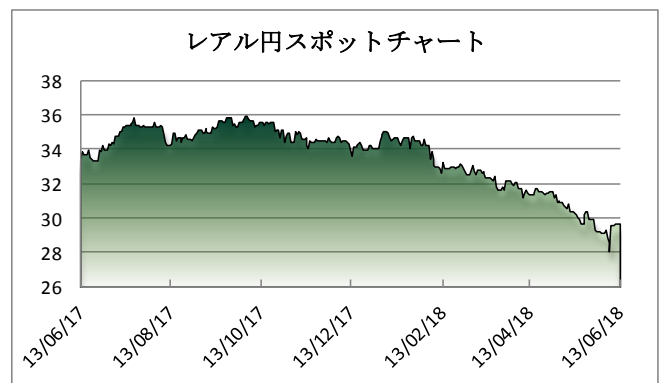
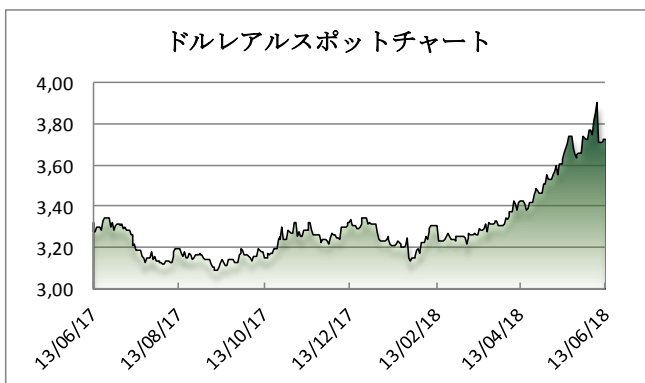
マーケットサマリー

ブラジル中銀によるスワップ介入が奏功し、昨日のドルレアルスポット相場も比較的レンジの狭い取引に終始した。中銀は1本目に4万枚(20億ドル相当)の入札を実施。その後追加で3万枚(15億ドル相当)の入札通知で相場を3.68台半ばまで押し下げることには成功したが、FOMC政策決定後にドル高がグローバルに広がり、3.73台後半までレアルは下落。中銀も即座に2万枚(10億ドル相当)の入札通知で対抗したものの、ドル高というトレンドの前に、人為的な介入も効果が減退しつつある印象。最終的に3.72台前半で取引を終えている。FOMCでは予想通りFF金利誘導目標が0.25bps引き上げられ、1.75-2.00%となった。利上げは今年に入って2度目。特に注目されるのは、インフレ率が従来の見通しよりも早いペースで上昇していることから、今年の利上げ予測が4回に上方修正されたことであろう。最新のドット(金利予測分布図)によると、今年通年の利上げ回数を4回以上と予想する当局者が前回3月の7人から8人に増加。一方、適切な利上げ回数が3回以下とみる当局者が8人から7人に減少している。FOMCは利上げペースを速めても経済成長は引き続き拡大するとの見方を示唆しており、声明文でも、「FF金利目標レンジのさらなる漸進的な引き上げが、経済活動の持続的拡大、力強い労働市場環境、及び、インフレ率が中期的に対照的な2%目標付近で推移することと合致すると見込んでいる」と記述している。気になるのはブラジルを含む新興国への影響であるが、パウエル議長はかねてから、「新興市場は米利上げの波乱を乗り切る力を備えている」との見解を示している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	6月12日	6月13日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,7193	3,7216	0,06%	3,37%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,67	29,65	-0,07%	-2,40%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3694	4,3875	0,41%	2,04%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,37	110,34	-0,03%	0,87%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	129,64	130,11	0,36%	-0,40%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	72.754	72.122	-0,87%	-15,37%	88.318	71.035
CDS Brazil 5yrs		bps	264,70	263,94	-0,29%	42,75%	269,27	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,69	11,81	1,03%	17,28%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	7,15	7,23	1,12%	14,49%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3356	2,3356	0,00%	-0,29%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	200,14	200,09	-0,02%	-1,70%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。